

見つけたす遊び

作成日 令和5年6月20日
対象児 1歳児 ばら組
作成者 山川真紀

○ねらい 保育者や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。



○振り返り

ばら組になってから、3ヶ月が経とうとしています。保育者と一緒に遊んだり、保育者に見守られながら、一人遊びを楽しんだりしていた子ども達も生活や遊びを通して、少しずつ友達への存在にも気づくようになってきています。遊びでは、物を出したり、入れたりすることや部屋にある玩具だけでなく、身近なもので遊ぶ姿も見られてきました。先日、玩具が入っている箱から玩具を出して、玩具が入っていた箱を押して遊ぶ友達の姿を見て、「面白そうだな」「やってみたいな」と思ったのか、ロッカーから、着替えの入ったかごを見つけて押そうとする子どもの姿が見られたので、それに代わるものがないかと考え、段ボールの箱を用意してみました。すると、段ボール箱を押すだけでなく、箱の中に入ったり、箱におもちゃを入れたり、手で箱を叩くと音が鳴ることを知って、同じように友達と一緒に音を鳴らしてみたりすることを楽しむ姿が見られました。音を鳴らして楽しんでいる時に保育者が「いい音がするね」と声をかけると、保育者の顔を見てにっこり微笑む姿があり、保育者と一緒に音を鳴らしてみると、友達と顔を見合わせてキャッキョと喜ぶ姿が見られました。また、言葉での会話は難しいですが、顔を合わせて、目を見て、一人ひとりの子どもの気持ちを受けとめ、寄り添っていき、安心して子ども達が自分らしく過ごせる環境作りをこれからもしていきたいと思っています。(健康な心と体・思考力の芽生え・豊かな感性と表現)